

## 平成20年度第1回歯学教育FD／IT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成20年5月9日(金) 16:00~18:00
- II. 場所 : 私情協会議室
- III. 出席者 : 神原委員長、齋藤委員、那須委員、片岡委員、森實委員  
井端事務局長、森下、恩田

配布資料 : 私情協平成20年度事業計画、  
課題「現状の問題解決のために活用するティーチング・ポートフォリオと  
10年先の問題を解決するためのティーチング・ポートフォリオについて」  
各委員提出のレポート

### IV. 議事内容について

#### 1. ポートフォリオの研究について

医学教育では教育にポートフォリオを取り入れているところもあるが、具体的な手法や効果は十分に把握できていない。このような背景の中でティーチング・ポートフォリオについて検討するため、提出された資料の説明と自由討論が行われた。

#### 2. 検討内容

各委員の認識をあわせる意味で以下の検討を行った。

- ①ポートフォリオ評価について
- ②教育現場へのポートフォリオ評価導入の経緯
- ③ポートフォリオ評価の分類
  - ・学生のための学習ポートフォリオ
  - ・ティーチング・ポートフォリオ
  - ・教員評価について
  - ・大学の管理運営者のためのポートフォリオ
- ④歯学教育におけるティーチング・ポートフォリオ
  - ・大学の使命
  - ・期待される歯科医師像
  - ・歯学教育システムとティーチング・ポートフォリオ
  - ・歯学教育へのティーチング・ポートフォリオ導入の方法
  - ・ティーチング・ポートフォリオの公開

#### 3. まとめ

ティーチング・ポートフォリオやチュートリアル、PBL等の新しい教育システムや教育技法を取り入れた様々な試みがなされているが、それがどのように学生にフィードバックされて、学生が6年間意識をもって継続していけるかがいまひとつ明らかでない。

究極の目的として、生涯学習の姿勢を学生に6年間の中で修得させることが大学の使命

だといわれている。

これまでは知識レベルのことだけを医学教育としてめざしてきたが、教育改革の様々な試みは、態度や内面の問題や卒後の学ぶ姿勢などをうまく修得させるチュートリアル教育の目的と一致すると思われる。

本委員会では歯科のティーチング・ポートフォリオの作成を検討するが、その前に教育者としての職務について“意識あわせ”をしなければ、各大学共通の大学の使命を認識することにならない。

今回は、各大学の資料を持ち寄り、教育者としての専門性について検討する。

#### 4. 次回開催予定

メールにて検討する